

様式第 1 号(第 6 条関係)

西予健発第83号
令和元年6月11日

総務企画部総務課長
山住 哲司 様

生活福祉部
健康づくり推進課長 沖村 智

会 議 要 録

名 称	令和元年度 第 1 回 西予市自殺対策推進協議会	
事 務 局	生活福祉部 健康づくり推進課 健康推進係	
	電 話 0894-62-6407	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	令和元年 6 月 5 日(水) 16 : 00 ~ 17 : 40	
開 催 場 所	西予市役所 5 階 大会議室	
出席者	自殺対策推進協議会委員	会長 井関満永、副会長 河野敏雅、 委員 竹内豊、松多克紀、上甲和也、兵頭秀二、二宮友紀、 沖野健三、高石徳香、稲井稔己、兵頭智子、薬師寺和枝、 兵頭豊司、河野秀雄 計 14 名
	その他	管家一夫、藤井兼人、岡山美穂 (八幡浜保健所)
	事務局	沖村智、井上理恵、佐々木靖子、二宮真紀、福岡美緒、芝江梨
議事内容 議事内容(要旨)	開会 (司会 : 健康づくり推進課井上課長補佐) 16 : 00 1. 会長挨拶 (井関会長) 2. 市長挨拶 3. 議事 (議事進行 : 井関会長) 16 : 10 ①西予市自殺対策計画策定の進捗状況について (事務局:二宮) ②西予市自殺対策事務事業棚卸について (事務局:二宮) ③質疑応答その他 16 : 40 事務局から説明後、各委員と意見交換を実施した。 《基本施策 1. 地域におけるネットワークの強化》 ・ H30 年の自殺死亡者 12 名の方は自殺のハイリスク者としてあがっていたか。地域で情報共有できていたのか。	

→（事務局：二宮）個人情報の問題があり、本人の了解がない限り情報共有は難しく、ハイリスク者の把握は難しい。また関わりによって防げたか防げないという評価はできていない。

《基本施策2．自殺対策を支える人材の育成》

・人材育成等を行っているところはあるか。

→（事務局：二宮）ゲートキーパー養成を介護支援専門員、福祉従事者対象に実施してきている。民生委員からも要望があり、健康教育を実施している状況。

《基本施策3．市民への啓発と周知》

・野城総合福祉協会では毎年市民対象に講演会を開催しているので、そこで行政と取り組み啓発周知することはできる。

・（事務局：二宮）これまでの広報やホームページとあわせて、講演会等で啓発周知する。

《基本施策4．生きることの促進因子への支援》

・学校は、普段からの子ども達への関りのみでなく、保護者や関係機関と連携をとりながら子どもたちへの支援をしている。

・家庭では、子どもと会話するよう心掛け、また生まれた時から絵本などを通して命の尊さ、大切さを伝えている。

・自殺死亡者が女性より男性に多いのは、女性より男性は、退職後、スポーツなど趣味などで集う機会が少ないのではないか。現職のころから地域でつながりを持つなど考えることも大事なこと。ゲートキーパーになるには資格等はあるのか。

→（事務局：二宮）養成講座を受講するのに資格はいらない。傾聴し、最初の気付く人になって欲しい。地域にそのような役割に興味がある人がいれば、地域の人を対象に講習を行いたい。

《基本施策5．児童生徒のSOSの出し方に関する教育》

・具体的施策の児童生徒のSOSの出し方に関する教育の事業内容の「各教科等の授業の一環として」を「全教育活動を通して」と文言を変えて欲しい。

《重点施策1．高齢者対策》

・高齢者に携わる事業で、市と協力して実施し、関係者間での共有することは大切。

《重点施策2．生活困窮者対策・3．勤務・経営者対策》

・中小企業などの後継者問題はあると聞く。また、災害後の企業再建に国や県、市の助成金は助かった。このような対策は必要なので、周知していくことが大事。

	<p>《評価の指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年後に評価するのに分かりやすく指標出すことは大切。 「連携を強化する」→「数字」、「減少させる」「増加させる」の表現にし、「現状維持」のものは、「±5%以内を現状維持とする」などの定義を作っておく。 <p style="text-align: right;">質疑応答その他終了 17:35</p> <p>閉会（河野副会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自殺対策は、市全体で取り組むことが大切。 ・ 意見・提言いただいたことを計画策定に盛り込んでいく。
備 考	